

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	世田谷区船橋 5 - 1 4 - 1 9
園名	世田谷区立船橋東保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ごっこあそび

<テーマの設定理由>

子ども達から、「マットでお家づくり」「テーブルでお店屋さん」など、やりたい遊びについて声が聴かれた。道具や素材を用意し、子ども達がイメージをひろげながら、ごっこあそびを楽しめる環境を整えていきたいと考えたため。

2. 活動スケジュール

通年で園庭・小園庭を活用し、自由遊びを楽しむ。虫や草花に親しめる環境を整え、季節ごとの自然とふれあいながら感性や探究心を育む。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・マットや丸太、板など構成して遊べる道具を用意する。
- ・テーブル、いすを用意する。
- ・子どもの遊びの様子に合わせ、鍋、ボウル、トングなどごっこ遊びに使える物を用意する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・丸太や板は、最初転がして運んだり持ち運ぶなど、試しながら素材に触れることを楽しんでいた。
- ・マットやタイヤなどを組み合わせて家や基地、お店など作って遊ぶ。自分でイメージをひろげたり、友達同士でイメージを共有しながら遊ぶ姿がみられる。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞



- 様々な種類のマットや他の物を組み合わせて、イメージしたものを作る。
「お家作ろう」「お隣とつなげてみよう」
- 友達同士でやり取りしながら、ごっこあそびを楽しむ。
「〇〇さんがお母さんで●●さんはねこ」
「今日はねこの誕生日だからケーキ食べよう」
- 砂、泥、水を使って、いろいろな食べ物に見立てながら、料理することを楽しむ
「何つくってるの?」「チョコレート」
「焼き芋食べよう」「アツアツだね」

5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

- 様々な種類のものを用意することで、構成を工夫したり、イメージをふくらませて遊ぶ姿が見られる。
- 子どもの「こうしてみたい」という思いを受け止めながら、どうすればイメージ通りのものができるか、状況に応じて見守ったり一緒に考えたりすることの大切さを感じた。
- 必要なものが十分用意されていることで、子どもが遊びに没頭することができることへの気づきがあった。